

県農業高等学校「日本学校農業クラブ全国大会」及び 「レディースカップ」第16回全日本女子選抜ウエイトリフティング選手権大会」 による教育長表敬訪問について

農業高等学校の生徒が、下記の2つの大会等で優秀な成果を収めたことにより、教育長を表敬訪問することになりました。報道機関の皆さまにおかれましては、ぜひ取材して下さるようお願いします。

記

1 訪問日 令和6年12月24日（火曜日） 午後3時45分から午後4時40分まで

2 場所 宮城県行政庁舎4階 特別会議室

3 次第

午後3時45分～4時20分 (1) 農業クラブ全国大会報告及び受賞内容発表（4部門）
4時20分～4時25分 ○ 生徒入替
4時25分～4時40分 (2) ウエイトリフティング部大会報告及び懇談
4時40分～5時 ○ 取材

4 訪問者

農業クラブ生徒 22名、 ウエイトリフティング部生徒 4名

校長 浅野 伸一

農業クラブ指導者 山根 正博（プロジェクト発表Ⅰ類指導教員）

須田 和行（プロジェクト発表Ⅲ類指導教員）

山田 陽一（意見発表Ⅰ類指導教員）

渥美 勇人（意見発表Ⅱ類指導教員）

ウエイトリフティング部顧問 佐藤 和夫

5 受賞内容等

(1) 農業クラブ

第75回 日本学校農業クラブ全国大会（4部門での最優秀賞受賞は大会初）

期間 令和6年10月23日（水曜日）から24日（木曜日）

場所 岩手県 盛岡市民文化ホール等

プロジェクト発表 分野Ⅰ類（農業生産・農業経営）3年連続 最優秀賞（農林水産大臣賞）

受賞者 代表者・発表者：阿部 快海（3年）

発表者：大西 真瑚（3年） 鈴木 傑心（2年）

補助者：丹野 楓悟（3年） 畠山 心来（2年） 菊地 玲鳳（3年）

大本 匠真（3年） 桜井 瑠衣（2年） 志賀 陽菜（2年）

大内 八昼（2年）

口題名 Re：温故知新

ハ内容 これまでの肥料に使用されていたプラスチックによる水質汚染を防止するため、緩効性の化学肥料「ウレアホルム」コーティングの水田用肥料の開発に取り組んできました。今年度は、高騰している肥料を削減しながら収量も上げる、肥料削減法を構築したことが評価され、3年連続で農林水産大臣賞を受賞しました。

プロジェクト発表 分野Ⅲ類（資源活用・地域振興） 最優秀賞（文部科学大臣賞）

イ 受賞者 代表者・発表者：庄子 怜未（2年）
発表者：高橋 愛優（3年） 皆川 快葵（2年）
補助者：水島 優太（2年） 佐藤 裕人（2年） 小川 陽己（2年）
佐藤 美空（2年） 菅野 もも（1年） 遠藤 優心（1年）
樋口 世夏（1年）

ロ 題 名 炭の錬金術師

ハ 内 容 稲作で産業廃棄物となるもみ殻を炭に加工してほ場で使用し、3年間で環境への負荷が少ない土壌づくりをした取組により、高校生で初めてJクレジット認証登録しました。同時に、地域の方がの炭づくりと申請の補助をするなど、地域への普及でも成果を収めたことが評価されました。

※Jクレジット…省エネルギー設備の導入や森林経営などの取組による、CO₂等の温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。

意見発表 分野Ⅰ類（農業生産・農業経営） 最優秀賞（農林水産大臣賞）

イ 受賞者 南條 匠極（2年）

ロ 題 名 次世代につながるバトン～粗飼料生産で支え合う地域の畜産～

ハ 内 容 仙台牛の肥育農家であると同時に精肉の直売店でもある家業を手伝う中で、関連農家である繁殖農家（子牛の販売農家）の経営が苦しいことを知り、自宅の稲わらの収集地で乾燥させた、海のリネラル分を含む粗飼料を、地域全体で生産して繁殖農家を支えるという、持続性の高い発表内容が評価されました。

意見発表 分野Ⅱ類（国土保全・環境創造） 最優秀賞（文部科学大臣賞）

イ 受賞者 星 碧虎（3年）

ロ 題 名 世界最悪の気候犯罪者

ハ 内 容 牛のゲップがメタンガスを含むことで「気候犯罪者」と呼ばれていることに衝撃を受け、既存の餌を活用して牛から出るメタンガスを減らし、環境保全型牛の生育に取り組むと同時に、少ない餌で効率的に肉牛の肉質を改善し、それを地域に普及したことが評価されました。

※ 日本学校農業クラブ全国大会について

日本学校農業クラブ年次大会（全国大会）は、農業クラブ員の学習内容の定着と三大目標「科学性」「社会性」「指導性」を高めることを目標として開催される大会です。7つの種目等において、生徒同士の交流や研究、発表などの自主的、主体的な活動を行います。

(2) ウエイトリフティング部

レディースカップ 第16回全日本女子選抜ウエイトリフティング選手権大会

期 間 令和6年11月20日（水曜日）から21日（木曜日）

場 所 滋賀県高島市 滋賀県立安曇川高等学校

イ 受賞者 大友 みのり（3年）
高橋 真愛（3年）
佐藤 和花（2年）
佐々木 瑠那（1年）

ロ 内 容 ウエイトリフティング部の選手4名が上記全国大会に出場し、3名が優勝、1名が入賞を果たした。

1大会、同一校内3名の優勝は、農業高校始まって以来の快挙である。大友選手は昨年度に引き続き同大会2連覇、佐藤選手は大会新記録を樹立し、高校の部において最優秀選手に選出された。